

札幌北陵高等学校へ工場扇等を寄贈しました

令和8年9月7日、札幌北陵高等学校へ北洋銀行様と当社から工場扇と扇風機を寄贈いたしました。

今回の寄贈は、北洋銀行様の「SDGs（教育）私募債（寄付寄贈型）」を活用した取り組みです。

当社は今回、寄贈先として札幌北陵高等学校を選定いたしました。選定にあたっては、当社の従業員に同校の卒業生が在籍していることや、近隣の学校への地域貢献につなげたいという思いがありました。

近年、夏季の気温が高くなる中、学校における暑さ対策や快適な学習環境の整備が重要となっています。寄贈した工場扇や扇風機を教室等で活用していただき、生徒の皆様の快適な学校生活の一助となれればと考えております。

当日は同校にて贈呈式が行われ、北洋銀行様と当社の関係者が出席いたしました。贈呈式では、生徒の皆様から感謝状をいただきました。

当社は、これからも地域に根差した企業として、地域の学校や社会への支援・貢献活動に取り組んでまいります。



贈呈式

集合写真



札幌北陵高に工場扇など

暑さ対策でプレゼント

北洋銀行と北海道三祐



札幌北陵高校（加藤誠校長）は暑さ対策に活用できる「SDGs（教育）私債（寄付寄贈型）」による工場扇4台と扇風機2台

の寄贈を受けた。北洋銀行の「SDGs（教育）私債（寄付寄贈型）」によるもの。私募債を発行した札幌市内の建設企業・北海道三祐が同校への寄贈を希望し実現した。7日に同校で行われた贈呈式では、生徒たちが教育環境改善に期待を寄せた。

北洋銀行の「SDGs（教育）私募債（寄付寄贈型）」は、私募債発行に際し、銀行が発行企業から受け取る手数料の一部で、発行

企業が希望する地域の教育機関に寄贈するもの。

北海道三祐は「自然環境の保全・創出並びに生活環境の整備に徹する」ことを経営理念として「土と水と緑の調和を築く」をテーマに、緑化工事や農業土木工事、斜面崩壊防止工事を中心に事業を展開している。また、緑化工法の技術開発にも積極的に取り組んでおり「自己還元緑化工法」「土と根のリサイクル工法」などは、その土地の生態系に調和する工法として高い評価を得ている。

同社は私募債5000万円を発行。従業員に同校卒業生が在籍していることや、近隣の学校に地域貢献をしたいという思いから、同

校を寄贈先に選んだ。

7日には、北海道三祐から笹浪圭吾代表取締役、五十嵐国宏常務取締役、田中健太総務部課長代理、北洋銀行から麻生支店の角田博一支部長、佐々木裕多氏が来校し寄贈品贈呈式に出席。同校からは加藤校長、鈴木直哉副校長、葛西高成教諭、生徒会の高橋凛会長（3年）、山中碧琉副会長（2年）、濱名教太副会長（2年）が参加した。

北洋銀行、北海道三祐から同校へ工場扇などを寄贈し写真。同校からは、高橋会長と山中副会長がそれぞれ角田支店長、笹浪代表取締役、感謝状を手渡した。

笹浪代表取締役は「地域の会社として学校のために

工場扇と扇風機を寄贈できうれしい。暑さ対策として活用いただきたい」と目

を細めた。

高橋会長は「学生の本分は学業。環境はとても大事

で、扇風機などがあれば学習がはかどり、ありがたい」と笑顔で話した。

令和 8 年 9 月 18 日 【金曜日】

北海道通信

感謝状

北海道三祐株式会社

代表取締役 笹 浪 圭 様

このたびは、本校を寄贈先としてお選びいただき、大型扇風機四台及び扇風機二台をご寄贈賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

貴社には、本校卒業生が従業員として在籍されているご縁に加え、地域の学校への貢献という温かいお気持ちから、本校の教育環境の充実のために格別のご支援を賜りました。

ご寄贈いただきました扇風機は、暑さ対策として、生徒がより快適な環境で学習活動に取り組むため、大切に活用させていただきます。

今回のご厚意は、大きな励みとなるとともに、地域に支えられ、地域とともに歩む学校づくりを進める上で、大変意義深いものとなりました。ここに深甚なる感謝の意を表し、厚くお礼申し上げます。

令和八年九月七日

北海道札幌北陵高等学校長

加 藤 生 徒 一

